



国土交通省

「国家機関の建築物等の保全現況」を公表
良好な官庁施設割合が伸長

3月15日、国土交通省は「国家機関の建築物等の保全の現況」を公表しました。この調査は国家機関の建築物等における「施設の概要等」「保全の体制、計画及び記録等」「点検等の実施状況」「施設の状況」について、毎年度公表しているものです。それによると、今年度は12,685施設を対象に調査し、築後30年以上の施設が面積ベースで全体の約49%と老朽化が進んでいるものの、庁舎等の施設については保全状況が良好な施設の割合が98.3%と、昨年度から2.0ポイント上昇しました。

(<https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001593734.pdf>)



建設業振興基金

「CCUS応援自販機」増加
2月末で9都府県12現場に設置

建設業振興基金は、建設キャリアアップシステム（以下、CCUS）の運営主体としてCCUS登録技能者のメリットを身近に感じられるよう、メリットの創出に取り組んでいます。このうち、CCUSカードで自動販売機にタッチすると技能者に飲料が無償で提供される「CCUS応援自販機」は、2022年9月に1号機が設置されてから徐々に増え、2023年2月末時点で12現場に設置されています。地域は、茨城、千葉、東京、神奈川、三重、大阪、兵庫、愛知、宮崎の9都府県となっています。

(<https://www.ccus.jp/attachments/show/6414172b-0528-4542-a336-390cc0a8081b>)



経済調査会

建設資材価格指数を発表
2か月連続で過去最高更新

3月17日、経済調査会は、主要資材の価格動向（2月調査）を発表しました。それによると、2015年度平均を100とした建設資材価格指数は、建築・土木総合で前月比0.4ポイント増の148.6と4か月連続の上昇となっています。前月に148.2で過去最高となった指数ですが、2月調査結果ではこれをさらに上回り、2か月連続で最高値を更新しました。製造コスト増を背景に値上げが進んだ異形棒鋼や、セメント価格の上昇を受けたコンクリート二次製品などの市況上伸が指数を押し上げました。

(<https://www.zai-keicho.or.jp/wp-content/uploads/2023/03/202304.pdf>)



東京商工リサーチ

2月の全国倒産件数は577件
建設業は43.7%増の115件

3月8日、東京商工リサーチは、2023年2月の全国企業倒産（負債額1,000万円以上）を発表しました。それによると、件数は577件（前年同月比25.7%増）で11か月連続して前年同月を上回りました。一方で負債総額は965億8,000万円（同36.0%増）と2月としては2年連続で前年同月を上回りましたが、2020年（712億8,300万円）から4年連続で1,000億円を下回りました。建設業は115件（同43.7%増）で、2か月連続で前年同月を上回りました。

(<https://www.tsr-net.co.jp/news/status/monthly/202302.html>)

東日本建設業保証

小冊子『建設技術者 START BOOK 2023』を刊行

この度、弊社では小冊子『建設技術者 START BOOK 2023』を刊行しました。主に若手技術者の方を対象に、身に付けておくべき基礎的な知識や仕事内容、成長段階ごとに必要とされる能力や資格などについて図表やイラストを用いてわかりやすく解説しています。またICT、BIM・CIM、ドローンなどの建設DXや働き方改革にも触れており、建設業の今後をイメージできる内容となっています。弊社営業部・支店の窓口にて無料で提供しています。



建設経営サービス

1級土木施工管理技術検定対策講座開講

東日本建設業保証グループの（株）建設経営サービスでは、2023年5月13日（土）、14日（日）の2日にわたって、1級土木施工管理技術検定第一次検定の対策講座を開催します。当講習会は遠隔地の現場で従事されている技術者の方々や平日は現場業務で多忙な技術者の方々が、ご自宅や現場事務所で集中的かつポイントを絞って学習できるように構成した講座となっています。なお、当講座はZoomによるオンライン開催となりチャットによる質問も可能です。

【お問い合わせ先：（株）建設経営サービス TEL.(03)3545-8522】

(https://www.kks-21.com/service/lecture/lectureship_1.html)

